

弱を前提とする戦争を早く根絶せしむるやを疑ふ。

兎に角無條件賛成を表明した我國の回答、特殊地域の自衛権を留保した英國よりは上出来、近頃稀に見る我が外交手段の成功だけは之を認める、併しながら此條約の締結に方つて國家自衛権乃至は既存條約に依る権利々益を毀損せられないことを要意肝要。

時評 路僧政



限定するなぞご吝嗇臭いことを言はずに佛國も參加するが可い、併しながら

▽ ▽ ▽ ▽ ▽

米國が提議した不戦條約案、遂に日本に佛國も參加するが可い、併しながら英獨伊の賛同を得るに至る、國際聯盟べき米國が、夫れを排しながら今更獨に屋上屋を架するものであるにして、自の條約案を提議したのに、賛成せぬも、人類生活上惡むべき戦争を防止根絶する、こなら幾つの條約があつても、らざるを物語るもの、強きものに引張可い筈、否認すべき戦争を侵略戦争に、られて行くの感、之で國際不平等、強せざりし此蠻行、支那人中文明進歩を

按してた支那の内亂、遂に濟南事

件を見るに至る、萬里隔絶の異域に奮闘してゐた同胞は、彼れ蠻人の爲に慘殺され蓄へた資産は掠奪さる、悲惨譬ふるに言葉なし、世界平和論者の夢想

▽ ▽ ▽ ▽ ▽

以て自任した南方政府も矢張り野蠻支那人の集團であつた。惡みても尙餘りある此仕打、假令反對論者が言ふやうに我が出兵の反感に依るこしても、こゝ茲に至つては支那人の暴行を是認する理由こはならぬ筈、賀耀祖軍罷免の如きは以て我の此損害を慰撫するに不足、列國の批評乃至は排日なぞ顧慮するこきでない、戰時法規を適用して占領地を確保し賠償の要求を徹底せしめて、遭災國民の權利々益の回復こ我が國威の維持に力めよ、夫れが我國の採るべき當然の手段、徒に言ふを已めよ。第三次出兵の不可を、是も亦自衛上よりして彼れ蠻人群羊の罪惡を膺感するの一手段たるもの。

夫人共に許さざる罪惡を敢行して耻ずる所なく、冠履轉倒的に事實を捏造して之が解決をジユネーヴの平和神殿——國際聯盟に訴ふ、盜人猛々しの類議するこころ、年中内亂を是れここ、議するこころ、在留外人の生命財産すら保護する能はざる低級國家が、己の爲すべきを爲さず其の非を覆ふて國際的に解決せむとするここそ笑止の沙汰こ言ふべし、見給へ、英國の我に對する同情やら米の觀望的態度を、文明國家は何れも野蠻國家に與せざることを物語るでは無いか、國際聯盟が法律的の理由を附さるものこして行はる、非文明的行爲して却下したのは當然過ぎる程當然のこと、支那もモレ少し自覺するが可い、

自らが爲すべきを爲せ、國際的道義を没却して文明國家に眞似らむこするこころ、南方政府が書生論的國家たる所以、夫れよりは我が要求に聽從せよ、夫れがセメテ南方政府の生くる途。滿州に於ける治安維持の爲に適當にして且有效なる處置を探ることを宣言した我が對滿政策、現下内亂鎮定の能力なき支那に對しては我自衛上當然事、夫れを内政に干渉し領土主權を侵害したものこ言ふ資格が無い筈、假令國民軍の北伐が支那の平和を維持し内外人の幸福と利益を増進する目的にあるにしても、其の手段又は支那軍人の附さるものこして行はる、非文明的行爲は是認すべきでない、然るに何事ぞや、我の對滿政策を以て特別目的ある

の、事を好むヤンキーとは言へ妙しは反省するが可い、卿等がニカラガの騒亂に對して採つた態度如何を顧みるが良い、我ニ満洲との地位ニ租借地やら鐵道を經營してゐること乃至は在留國民の數は、卿等ニカラガとの比では無い、我は正義和平を實現する國、無用の言辭を弄する勿れ。

がら唯だ國民に多大の教訓を與へたゞ、不信任、曰く議員選舉の自覺是である不信任、曰く議員選舉の自覺是である。權勢ニ金力ニ以て議員買収の非を敢てした政友會、政權維持したさの噛り附き主義の下に再解散を以て威嚇し、唯一の在野黨ニ自負し人も許した

がら唯だ國民に多大の教訓を與へたゞ、員を觀るに至つたのも選舉民が人選を誤つた罪、今後の選舉は人格者を選擇すること、夫れが議會の改造ニもなり

政治の改革ニもなる、新議會の後を辿つて感慨無量。

不合理、非立憲ぢや、ミ言はれつ、

當初國民に聲明した内閣不信任案の未議了を希ふに至る、兩黨の醜狀陋態、いかに解散を怖る、心裡ニは言へ、公二回に及んだが、如何なる國政を議決したが、曰く御大禮豫算ニ對支出兵費及警察費の追加豫算、夫れに餘り效果の無かつた教科書的國難決議に不過、唯だ夫れだけのこと、新有權者の聲は議會に反應する所がなかつた、併しな

けのことを喜ぶ、曰く二大政黨に對する不信任、曰く議員選舉の自覺是である。權勢ニ金力ニ以て議員買収の非を敢てした政友會、政權維持したさの噛り附き主義の下に再解散を以て威嚇し、唯一の在野黨ニ自負し人も許した

がら唯だ國民に多大の教訓を與へたゞ、員を觀るに至つたのも選舉民が人選を誤つた罪、今後の選舉は人格者を選擇すること、夫れが議會の改造ニもなり

政治の改革ニもなる、新議會の後を辿つて感慨無量。

不合理、非立憲ぢや、ミ言はれつ、

漸く議會を切抜けた現内閣、鈴木内相を犠牲に供し内閣の改造を餘儀なくされた、其の改造劇、隨分世の笑嘲をかつた、併し是も詮じ詰むれば政友會が成政黨の何れをも信頼せず、モー其の總裁を養子に迎へた罪、今更彼是言つても取返しは附かぬ筈、併し夫れは政友會ニ田中男ニの關係、田中男にすれば政友會は俺の買つたもの、黨内に異論があらうミ不平があらうミ俺は知ら

な、同郷の恩人久原を入閣さえすれば十分だ、と言つた調子の私恩式人事の

決定、是でも尙忍なければ生活の出来

ない政友會、久原の出資に依つて政權

を得たと評されても仕方があるまい、併し政黨は公約のもの私情々實の行動

を許さぬ、従つて夫れを代表する總裁

の行動も亦公約ならねばならぬ、國民の反対氣勢などは何處を吹いてるるか

こ言つた調子の行動は許さぬ、いかに

政友會でも此位のこゝは判つてゐる

筈、誰か一人位は情實打破の犠牲者が

あつても可い、とは小泉老の言を藉る

までもない、有識の士一否な心ある民衆の希望であつた、果たせる哉、水野文相の辭職、世間兎角の評があるにし

ても、政友會に其の一人を得たこゝ

は、吾れ立憲を看板とする政友會の爲に喜ぶ。

水野文相の引責辭職問題、兩相の交

通は誰も知る筈は無い、唯だ屢次發表さ

れた聲明に依るの外ないが、惜むらく

は兩者の聲明は矛盾と曖昧、言はむこ

する所を秘するが如し、併しながら首

相上奏の前夜、假令水野文相が辭意を

固執したにもせよ、或は之を翻したに

もせよ、内閣統制の任に在る首相が自

ら夫れを決定するでなく聖慮を煩はし

たのは早計、蓋し辭意を究るゝに在ら

ば夫れを奏上すべく、辭意したとせば

奏上するに及ばない筈、辭意を申出した

るも御嘉納あらせられず、辭意天土に

達して御言葉を賜つたにしても、其の

ここに至るに付文相が責を負ふべき筋

合でない、然るに水野文相を目指すに優謹降下を理由として留任し表面を粉飾して世を欺瞞するものと爲すが如き

は、人を強めるの甚敷もの、水野氏の

人格を知るもの誰か贅せざらむや。若

し是に依つて文相責を引くべくば首相

當然責を引くべく前者職を去るべくは

後者其の職を去るべきもの、文相一人

を責むるは間違。

優謹降下問題に胚胎して更に聖慮を

煩し奉りたるこゝ、臣子として恐懼す

るこゝろ、夫れに依つて文相が辭職し

たこゝ夫れは第一次辭職問題の責を物

語るものでは無い、併し是に依つて亦

首相の新責任問題惹起、學者をして

「昨は文教の重きが故に留任を奏上し

翌は其の責を一人に歸して更に其の辭

意を執奏する如きは大臣責任の本旨を
棄る」と言はしむるに至る、蓋し當然
事。

民衆政治とは無關心な貴族院、優謹
問題に憤慨、遂に各派の一一致を觀る
この可否は別として、議會閉會時
の此不信任は法理的效力が無いにして
も上院の大勢が判る、夫れに與黨内か
らも總裁の責任を指摘面詰したと傳へ
られ、いかに非理を粉飾するも民心現
内閣より離反するの感、切、今茲に局
面を轉回して誤れる人事行政の不評を
挽回し、新らしき政治の道を選ぶに非
ずむば、政友會の前途や知るべきの
み、切に反省を求めて已まざる所以。

緊急勅令を以てせむとする治安維持
法の改正問題、形式内容兩方面より非
私有財產制度を否認せむとする者を嚴
刑に處するのは固より異論の無い筈、
從つて嚴刑は却つて反抗機運を激成す
るとか言ふ様な書生論を以て反対する
のは當らない、蓋し科刑が目的で無い
のは始より判つた事、唯だ反逆教に陶
醉する危險を豫防する已むを得ざるの
手段のみ、之が爲に法律を改正する必
ずしも咎むべきでない、併し議會の會
期を延長せずに未議了に終らしめた法
律案を、今更緊急勅令を以てせむす
ることは憲法違反、若し必要ありと
せば其の緊急なる所以を公表して嚴罰
の非常手段を探ることが已むを得ざる
に出するを國民に納得せしめよ、假令
樞密院が諒解したにしても國民は斷じ
て之を許さざるべし、世論に逆行して
我意を通さむとするこそ、夫れに雁行
して現内閣が民心より遠ざかるこそ、
爲る、田中總裁獨占内閣とは言々、前
内閣の財界救済に關する緊急勅令に反
對した政友會、少しあ事理を辨へるが
可い。

政府の此企を責むる資格が無いとして
△